

串間市立秋山小学校

学校便り

平成23年2月3日

秋山小学校校長

明るい 強い 正しい

秋山っ子

いつまで続くのでしょうか。

降灰と鳥インフルエンザにインフルエンザ、そして寒さ

子どもたちが全員そろって登校するようになったと思ったら、灰を眺めながらの生活になりました。

新燃岳の噴火は収まるどころか、被害が拡大しています。空振は、ここ串間でも感じられ、不気味な音を立ててガラス戸などを揺らしています。そして、時々、伝わる爆発音。新燃岳から離れている串間でさえこうですから、都城や高原では、深刻な問題となっています。長期化するという予想も出ていて、今後が心配です。

さて、降灰で一番困るのは洗濯だと思いますが、いかがでしょうか。屋根のあるところに干しても、風が吹くために洗濯物に灰がつきます。洗濯しないわけにもいかないのでチャレンジしてみましたが、どうも着心地がよくありません。私の場合は、今のところ着心地だけです。体内に取り入れられない方がよいのは明らかです。特に喘息のある人は、重症化する可能性も指摘されています。喘息の子どももいますので、学校では運動場を使わないようにしたり、窓を開けないようにしたりしています。雨が降らないので、運動場の芝生には、灰がたまっていて、歩くとポッポッと灰煙が舞います。しばらくの間は、マスクが必需品ですね。

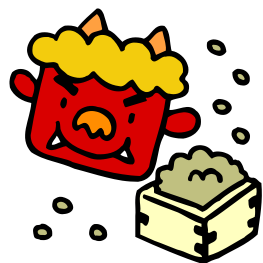
9回目の爆発的噴火の様子

鳥インフルエンザは宮崎県だけでなく、鹿児島県や大分県でも発生しています。西都市では、鳥インフルエンザの疑いのあるハヤブサが見つかったということです。こちらも心配です。お隣韓国では、口蹄疫で牛302万頭、鳥インフルエンザで541万羽が処分されたということです。しっかりとした対策を行って、はやく沈静化してくれることを祈るばかりです。

先週、地区の老人会のみなさんのご協力により、そばうち体験をすることができました。自分たちがまいた種から育ったそばですから、そばの味も格別だったことでしょう。おいしくいただきました。

前日から準備をしてくださいました。ありがとうございました。

おいしい！



今日は節分です。節分というのは季節の分かれ目を指す言葉で、新しい春を迎えるためにいろいろな悪いことを追い払おうという意味もあります。

今夜は豆をまき、噴火や鳥インフルエンザなどの災害も追い払うことができればいいなあと考えているところです。